

彼女たちはなぜ

# 今までの生活を

# 捨ててまで変わる

## ことを選んだのか？

いつもの生活を変えて新しいことに挑戦するのは、パワーもいるし、勇気も必要。そこで、未経験から転身した先輩に、決断するまでの揺れ動く思いや心の葛藤を聞きました。

写真/松葉紀子(スパイラルワークス) 撮影/池谷彩子、小野芽里 D/林 ふみ(attik)

### 安定した仕事を思い切って退職

大学時代に取得したファイナンシャルプランナーの資格を活かしたいと、銀行へ就職。法人向け融資を任せられ、やりがいはあったものの、自分の判断が企業の命運を決めてしまうという責任の重さに直面して悩んでいました。個人向けサービスを担当したかったということもあり、これがやりたいことなのかと、自問自答する日々。そんなとき、高校時代の友人が夢だったというダンスに挑戦したのを知って、私も好きなことをやってみたくなり、最初は趣味のつもりで黒崎えり子先生のネイルのスクールに通い始めたのです。

学べば学ぼうど本格的にやってみたいという気持ちが沸き上がり、1年後に退職。それから1年で念願の資格も取得し、ついにあこがれだったサロンに就職できたんです！ やりたい仕事に就いたおかげで、「もっと上手になりたい」と向上心が高まり、毎日、自分自身の成長が実感できるようになりました。

捨てたもの  
銀行員という安定した職  
得たもの  
成長しているという実感

### 銀行員→ネイリストに転身

大塚沙織さん(27歳)

大学卒業後、銀行に就職し、法人向け融資担当に。25歳からネイルを学び、26歳で銀行を退職。1年間のアルバイトを経て、ネイリストとしてクリアトゥール レヴィール 表参道ヒルズ店へ就職。

#### 転身データ

“変わりたい”と思った年齢 / 24歳  
決断までの期間 / 1年間  
かかった費用 / 110万円(2年間)

転身前の大塚さん



取材協力/黒崎えり子ネイルビューティカレッジ  
<http://www.erikonail.com/school/>



本気で好きになれる  
仕事に打ち込み、  
人として成長したかった

## やりたいことをあきらめて、 一生後悔しなくなかった

### 育児だけで人生を終わりにたくない、夢にチャレンジ

あこがれだったアパレル会社に就職したものの、入社わずか1年で結婚退職。子どもと過ごす幸せな日々を送りつつ、「育児だけではいつかは後悔するのでは」と考えるようになりました。

2人目の育児が落ち着いたので、好きだったメイクを学ぼうと、ヒューマンアカデミーの体験入学に行ったら、実習が楽しくてメイクを仕事に

したいという気持ちが高まったんです。両親や夫は「国家資格でもないし、何の保証もない」と大反対でしたが、夢をあきらめるのは子どものためにもならないと、入学を決意。1年後には、ブライダルやイベントのヘアメイクを手がけるように。子どもとの時間は少なくなりましたが、今までより大切に過ごせるようになりました。

### 専業主婦→ヘアメイクに転身

滝沢美和さん(27歳)

高校卒業後、アパレル会社で1年間販売スタッフとして勤務するが、結婚退職。2人の子どもの出産後、育児をしながスクールに通い、念願のヘアメイクアーティストに転身。

#### 転身データ

“変わりたい”と思った年齢 / 25歳  
決意までの期間 / 1年間  
かかった費用 / 80万円(1年間)  
※メイク道具一式代含む

転身前の滝沢さん



捨てたもの  
子どもとゆっくり過ごす時間  
得たもの  
夢に向かって突き進む背中

取材協力/ヒューマンアカデミー <http://ha.athuman.com/>



“夢を  
あきらめない姿”を  
子どもに見せたくて  
周りの反対を押し切った



# 年齢や環境のせいにならなかった

捨てたもの  
35歳までのキャリア  
得たもの  
一生使えるWebスキル



捨てたもの  
家族を支えるための収入  
得たもの  
自分らしく生きている実感

## 派遣事務 →心理カウンセラーに転身

安澤由美子さん(43歳)

高校卒業後、ホテル、消費者金融を経て派遣の事務職に就く。働きながら心理カウンセリング、フラワーセラピーを学び、42歳でフリーのカウンセラーに転身。個人のカウンセリングやフラワーセラピー講師などで活躍する。

## 長年、病気がちな母を支えてきた 高収入を捨てて、夢を優先

13歳で父を亡くし、病気がちな母を支えるために高卒で就職。生活を第一に、給与の高い仕事を選んできました。でも39歳のとき、派遣契約が満了を迎えたのを機に、人生を考え直したんです。将来、「母のために夢をあきらめた」と言い訳するのではないかと。そう思っていた矢先、心理カウンセリングの仕事をする友人と再会。話を聞いて、人の役に立てる実感が持てる仕事だと感じました。私もこの道に進みたいと強く思い、スクール入学を決意。転身した今、初めて、自分の人生を生きている気がします。収入は半減しましたが、それは今後の課題。稼げるカウンセラーを目指して、知識やスキルを吸収したいです。



### 転身データ

「変わりたい」と思った年齢 / 39歳  
決意までの期間 / 半年間  
かかった費用 / 6万円(2ヵ月間)

取材先 / BLUE BELL フラワーセラピーアカデミー  
<http://www.f-bluebell.com/>

転身前の安澤さん



## 広報 →Webデザイナーに転身

平川詩子さん(37歳)

大学卒業後、家具販売会社などを経て、32歳で青年海外協力隊として2年間海外へ。帰国後、国際協力団体の広報職に就く。スクールを経てインテリアリース会社のWebデザイナーに。

## これまでのキャリアを捨てても 自分の可能性を追求

以前は、海外経験を活かして国際協力団体に勤務。広報として、広告代理店にWebのコンテンツ制作を依頼していましたが、自分の知識が浅く、思うようにいかないことも。Webの知識の必要性を実感するうち、次第に“制作”自体に興味を持つようになりました。

35歳でこれまでのキャリアを捨てての転職は、待遇面でのリスクも大きい。パソコンもどちらかというと苦手。でも、いろいろと言いつつやらないうちと一生後悔するし、好きなことなら大変でも乗り越えられると思ひ、まずは仕事を続けながらスクールで学ぼうと決意しました。

卒業後はインテリアリース会社に転職し、Webデザインを担当しています。自分の限界を決めるのは“自分”。自分の可能性を信じて、挑戦して良かったです。

転身前の平川さん



### 転身データ

「変わりたい」と思った年齢 / 35歳  
決意までの期間 / 半年間  
かかった費用 / 約46万円(約半年間)

取材協力 / リカレント  
<http://www.recurrent.co.jp/>

捨てたもの  
自由な生き方  
得たもの  
ちゃんと生きているという自信



## 飲食店スタッフ→保育士に転身

北野奈々子さん(32歳)

高校卒業後、父が経営する工務店に入り、施工業務に従事。その後、旅館や飲食店スタッフを経て、保育士資格を取得。31歳から都内の保育園に勤務する。

## 何をやっても中途半端だった私 ほしかったのは「自信」

高校卒業後、沖縄のタバコ畑で働いたり、旅館で働いたり、自分のやりたいことを見つけないまま、仕事を転々としていました。でも、見つからずモヤモヤしていたのですが、失恋でどん底まで落ち込んだのを機に「どんな仕事に向いているのか？」を真剣に考えました。すると、子どもと遊んでいるときは時間を忘れるほど楽しいのを思い出して、保育士になりたいと思うようになりました。

親に相談すると「年齢的に遅くない？」と言われてがっかり。でも、「負けてたまるか」と奮起し、29歳で専門学校へ。3年後には実習先でお世話になった保育園に就職しました。

ずっと自分探しを続けてきたけれど、今は自信を持って「ちゃんと生きてる」と言えます。

### 転身データ

「変わりたい」と思った年齢 / 29歳  
決断までの期間 / 半年間  
かかった費用 / 約165万円(3年間)

取材先 / 日本児童教育専門学校  
<http://www.jje.ac.jp/>

転身前の北野さん





もの  
イダル業界の知識とスキル  
の  
日を大切に生きる姿勢



グルコーディネーター→  
インストラクターに転身  
さん(27歳)

結婚式の2次会会場のプランナーを経て、ウ  
ドレスのコーディネーターとして3年間動  
を経て、ヨガインストラクターに転身する。

でのキャリアよりも  
何よりも大事と痛感

代のアルバイトを通して、人が  
見ることがうれしいということ  
、お客様の人生により深く関わ  
う理由で、プライベートの仕事  
も仕事がハードで、同僚が体調  
ともありました。そうした職場  
かで働くうちに、「何よりも健  
」と思うようになり、さらに「手  
つけたいと資格取得を考えるよ  
ました。転身を決めた際、教育  
った親は「ヨガで食べていける  
不安そうでしたが、自分の人生、  
とをとことんやりたいとスクー  
。半年学んで、ヨガインストラ  
になりました。

瞬間をどう生きるか?の積み重  
事。ヨガで自分と向き合ううち  
ことに気づきました。今は、一つ  
瞬間を大切に生きて積み重ねて  
う、日々努力しています。

転身前の山下さん



「変わりたい」と思った年齢 / 25歳  
決意までの期間 / 即決  
かかった費用 / 32万円(半年間)

YMCメディカルトレーナーズスクール  
v.ymc-school.com/

捨てたもの  
上場企業勤務という地位  
得たもの  
一生働けるという自信

受付→  
不動産会社社長に転身

外山マリアさん(29歳)

短大卒業後、大手メーカーの受付担当に。働きながらスク  
ールに通い、宅地建物取引主任者の資格を取得。23歳で不  
動産会社に営業として転職する。28歳で起業し、「Tender  
Living株式会社」代表取締役に。

目の前の安定より将来の不安を重視

希望通りの会社に入り、受付の仕事に就き  
ましたが、仕事に慣れると、大半の先輩が30  
歳前後で退職していくことに気がつま  
した。「受付の制服はかわいいけれど、若いうち  
しか似合わなそう。スキルなしで30歳になる  
のは怖い」と焦りを感じるように。「宅建」なら  
仕事に結びつきそうだし、父がビル管理をして  
いるので、家族のためにもなるかとも思い、  
資格取得を決意。学ぶうちに実務にも触れた  
いと考えようになり、不動産会社の営業に  
転職。28歳で独立して賃貸仲介業を始めま  
した。女性がムリなく働き続けられる会社と  
して成長していくのが、今の夢です。



転身データ

“変わりたい”と思った年齢 / 23歳  
決意までの期間 / 半年間  
かかった費用 / 20万円弱(約1年間)

取材協力 / 宅建専門学校 TOP宅建学院  
http://www.my-hp.jp/top/

転身前の外山さん



チャレンジせずに、なんとなく  
過ごす日々が嫌だった

捨てたもの  
充実したプライベート  
得たもの  
仕事=楽しいという喜び

総務→  
フードコーディネーターに転身  
城みゆきさん(38歳)

バブル崩壊後の超氷河期に専門学校に就職し、総務に従事し  
た後、IT企業へ転職。28歳からスクールで学び、転身。現在  
は株式会社ラグル・タグ代表として活躍する。

時間はあっても物足りない日々で決別

最初に勤めた専門学校の仕事は忙しく、疲れ果  
てて残業のない会社に転職。時間ができると今度は  
「本当にやりたいことは何?」と考えるように。

プライベートが充実した生活には満足していま  
ましたが、特にやりたいこともないまま年を重ねる  
ことに不安を感じ、転身を決意。母が料理教室の  
先生をしていることもあり、料理の道に進もうと  
スクールに入学しました。今は、雑誌や書籍、企  
業のカatalogなどのフードスタイリングなどを担  
当。撮影したものが本などの形のあるものになっ  
たのを見ると、この仕事に就いて良かったと思  
います。最近、ストレスがないせいか風邪ひとつ  
ひきません。充実している証拠ですね。



転身データ

“変わりたい”と思った年齢 / 28歳  
決意までの期間 / 1年間  
かかった費用 / 40万円弱(約1年間)

取材協力 / ジャパン・フードコーディネーター・スクール  
http://www.jfcs.co.jp/

転身前の城さん





# 結婚・育児のために ライフスタイルを 変えたかった



捨てたもの  
正社員という雇用形態  
得たもの  
子どもの成長を見守る時間

IT講師→  
**オーラソーマ®  
プラクティショナー**  
に転身

霜村有希子さん(37歳)  
大学卒業後、教育関連企業に就職。10年以上勤務していたが、震災をきっかけに転身を決意する。スクールを経て、37歳でサロン「コズミックラビット」をオープン。

## 安定した職を捨てて得た、子どもと過ごす時間

以前は外資系企業で、IT講師としてeラーニングに携わっていました。14年も勤めていたので、残業が多いのは当然のように思っていたのですが、子どもが体調を崩してもすぐに保育園に迎えに行けず、子どもと過ごす時間も少ないことが心にひっかかっていました。

震災で不安な思いをしたことで、子どもの近くにいたいという気持ちが強まり、何かあった

らすぐに子どものもとへ駆けつけられる仕事をしようと、転身を決意。大学で学び興味があった心理学関係で調べるうちに、オーラソーマを知りました。コースを終えて開業しようとしたところ、高い保証金を払って信用を買わなければいけなかったことなど、戸惑うこともありましたが、毎朝、息子と散歩しながら保育園に通う時間は、ほかの何物にも代えられません。

・転身データ  
“変わりたい”と思った年齢 / 35歳  
決意までの期間 / 2年間  
かかった費用 / 60万円(7ヵ月間)  
取材協力 / ハーツイース  
<http://www.color-iyashi.com>



転身前の霜村さん

## 一步踏み出すことから、 変わる、始まる。新たな人生。

新しいことに挑戦するのは大変。でも、葛藤を乗り越えて一步を踏み出した先輩は、「毎日が充実している」と笑顔で話してくれます。目の前の待遇や環境などの条件も大切だけれど、ライフスタイルとともに変化するもの。大きな視点で自分の「軸」を見つけ出し、「天職」を探したいですね。

捨てたもの  
ダンサーになる夢  
得たもの  
独立という新たな夢

飲食店スタッフ  
→セラピストに転身  
田村有里恵さん(24歳)

3歳でバレエを始め、プロダンサーを目指すのが、大学時代に一生続けたいか不安になり、ダンスを辞める。飲食店で働きながらスクールで学び、23歳からタイ古式マッサージ「STONE RETCH」に勤務。

女性としてのライフスタイルを  
考え、一生続けられる仕事を選択

幼いころからバレエを習い、プロを夢見て努力をしてきましたが、就職活動を控えた大学3年生のころ、迷い始めました。ダンスで生活できる人はごく一部。講師になるにしても、結婚・出産しても続けられるのかどうか…。将来に不安を抱き、夢を捨てて別の道を探することに。

ダンスで疲れたときに利用していたマッサージに興味を持ち、タイ古式マッサージのスクールに入学。飲食店で働きながら卒業して、現在のサロンへ。今は、独立開業という新たな夢を手に入れました。

### ・転身データ

“変わりたい”と思った年齢 / 22歳  
決意までの期間 / 2~3ヵ月間  
かかった費用 / 50万円弱(6ヵ月間)

取材協力 / ラップアルタイ古式マッサージ学校  
<http://www.thai-koshiki.com/>



転身前の田村さん



捨てたもの  
自由に使えるお金  
得たもの  
開業して家庭と両立する夢

販売  
→整体師に転身  
岡澤由香さん(24歳)

高校卒業後、すぐに上京。飲食店やアパレル販売などを経験するが、一生の仕事求めて癒しの道に転向。整体スクールを経て、23歳で現在勤務するサンワ総合整骨院へ就職する。

### ・転身データ

“変わりたい”と思った年齢 / 20歳  
決意までの期間 / 2年半  
かかった費用 / 100万円弱(10ヵ月間)

取材協力 / 東京国際整体医学院  
<http://www.seitai.co.jp>



転身前の岡澤さん



## ヘルニアを患ったことを機に、癒しの道を究めようと決心

高校時代に父の経営する会社が倒産。「自分一人でも食べていける力をつけたい」と思うようになりました。それが私の仕事観の土台になっています。

高校卒業当時、私の地元の友達に服飾関係に進学や就職する人が多く、その影響で私も販売の仕事に就職。でも実際に仕事をしてみて、「楽しいけれど、これは自分の一生の仕事じゃない」と感じていました。自分が本当は何がしたいのかよく考え、

直接人の役に立っていると実感できる仕事がしたいと、整体のスクールへ入学。ちょうどそのころ、仕事場で頸椎ヘルニアになり、リフレクソロジーを受けて奇跡的に回復したのです。それをきっかけに、癒しの道を究めたいという気持ちが一段と強まりました。

現在は整骨院で腕を磨く日々。いずれは整体師として独立開業し、家庭を持ったら、家族を癒してあげたいです。